

内閣府、新潟県、上越市、くびき野NPOサポートセンター共催

『地方共助社会づくり懇談会 in 上越』

「誰が地域を支えるか」

(2014年10月10日)

裏方さんが地域を支える

今瀬 政司

(長岡大学 経済経営学部 准教授

NPO法人市民活動情報センター 代表理事)

sic@sicnpo.jp http://sicnpo.jp/imase_profile.html

「誰」が地域を支えるか

- 地域の深刻な課題解決には、「自助」「共助」「公助」の組織づくり・地域づくりが大事

けれども  現実には

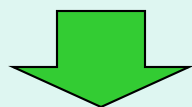
- 「助け合うにも人がいない!」、「組織があっても人がいない!」、「結局、誰がやるの?」

それでも  だからこそ

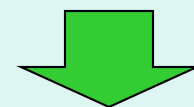
- 地域には、必ず種・芽があると「信じぬく」こと
- 「人」という課題と可能性に正面から向き合うこと

地域にはどんな人がいるか

- 企業、地縁組織、NPO、学校、行政などの組織と、それらで勤務したり、活動している人
- 家庭とそれを守っている人
- 学校、保育園・幼稚園で学ぶ人（子供たち）
- 家庭や地域を担う人（定年退職した人など）



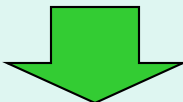
そうした



- あらゆる組織と人たちが、お互いに、「地域に支えられ」、かつ「地域を支えている」、というごく当たり前のことを、常に忘れないこと

「裏方さん」が地域を支える

- 地域づくりでは、リーダー、コーディネーター、アイデアを出す人、専門家等のキーパーソンが大事

それらの人がいても  現実には

- 「作業をする人がいない!」、「誰がやるの?」
「理想どおりには、実行できない!」

忘れてはならない  大事なことは

- 陰で「作業をする人」、「裏方さん」を大事にし、スポットライトを当て、高く評価することが重要

地域づくりを支える「裏方さん」

- 企業・NPO・行政等の幹部・リーダーの活躍を、陰で支える**事務スタッフ**
- 地縁組織（自治会等）で活躍する人を、**家庭で支えるパートナー**
- 企業・NPO・行政等で働く人を、**家庭で支えるパートナー**
- 地域に笑顔と潤いをもたらしてくれる**子供たち**
- 困った時に、知恵を貸してくれる**高齢者**
など・・・

市民が「表方」と「裏方」を支えること

- 地域の事業（例：お祭り）への多数の市民参加

けれども  実質的には

- 市民は「表方」のみ（例：当日、踊りに出場のみ）を担う。／行政や関係組織のみが「裏方」（例：事務局、企画・運営）を担う
- 地域づくりの実質の波及効果や継続性が低い

地域力を培うのに  大事なことは

- 市民が「表方」と共に、「裏方」を担うことが重要

「裏方さん」づくりの取組み①

- 地域活性化では、「作業をする人」「裏方さん」の大変さ、大事さを学ぶ機会づくり、「裏方さん」を生み出す仕掛けづくりが必要

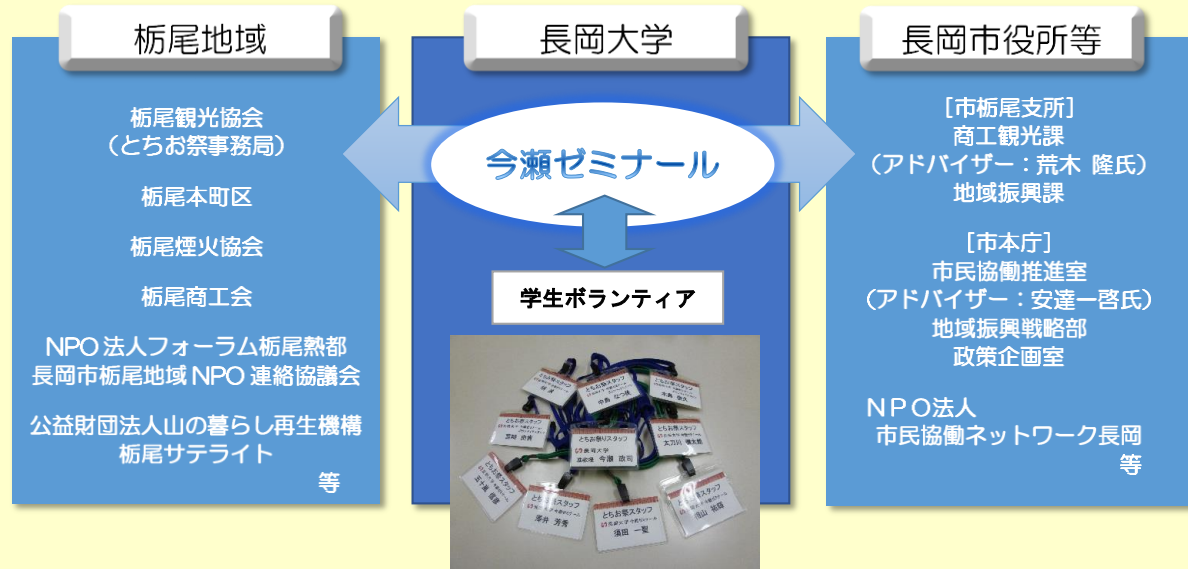
【私の取組事例】長岡大学 今瀬政司ゼミナール 「とちお祭への裏方参画と調査・情報発信」

- 長岡市栃尾の「とちお祭」に、今瀬ゼミの学生たちが、「裏方」として参画（企画から、事前準備、直前設営、当日運営、後片付けまで）

「裏方さん」づくりの取組み②

- 並行して、裏方だからこそ分かる「とちお祭」の実態を記録、調査して取りまとめ
(祭そのもの、祭に関わる人たちの様子、祭を通して見える地域の良さと課題など)
- 裏方参画と調査から分かった**栃尾の本当の姿を情報発信** (作成中: 報告書、展示パネル、ホームページ、栃尾域外(学園祭、他)にて)
- **栃尾への誘客をめざすとともに、祭の「裏方」が再評価され、市民の「裏方さん」が増えることを期待**

今瀬ゼミナールとの関わり（協働）



とちお祭の結団式



とちお祭当日のゼミ生等集合写真



祭のチラシ配り



とちお祭の安全祈願祭



仁和賀行進の準備



樽みこしの部会を記録



祭当日の打合せ



祭の幟たて



祭の提灯づけ



祭の会場設営



祭の設営完了で記念撮影



全日本樽みこし綱引き選手権に出場



樽みこし綱引きで準優勝



仁和賀行進



仁和賀行進に参加



祭のオープニングイベント



祭の出店で販売員



大民謡流し



みこし渡御



大花火大会の設営



花火大会の看板設置



花火の打ち上げ



花火の片付け



地域づくりの担い手に必要な姿勢

- 社会(人)の痛みを理解し主体性を持って取り組むこと
- 「何のために」の原点に常に向き合うこと
- 違いを尊重し、分かり合うこと
- 否応なく対立したときでも、相手を思いやる心を忘れないこと
- 社会・地域には必ず種・芽があると「信じぬく」こと
- おかしいものはおかしいと腹をくくって言えること
- 自己否定・自己改革する勇気を持つこと
- 公的資金を使う場合には市民還元・社会還元を大事にすること

【参考文献】

『地域主権時代の新しい公共 希望を拓くNPOと自治・協働改革』

著者：今瀬政司 発行：学芸出版社

- 第1章 市民が切り拓いたNPO政策
- 第2章 行政改革としての協働政策
- 第3章 真の住民自治のための地域自治政策
- 第4章 地域主権時代の真の新しい公共
- 第5章 東日本大震災における新しい公共